

自動車NOx・PM法と東京都条例との関係

都民の健康と安全を確保する環境に関する条例(健康確保条例)

【概要】

2003年10月から、基準を満たさないディーゼル車の都内の走行を禁止(運行禁止命令に従わない者は50万円以下の罰金)

排ガス中の粒子状物質について独自の基準を設定、新車登録から7年以上経過したトラックやバスなどのディーゼル車(定員10人以下の乗用車を除く)に適用

この基準を満たさない車の走行は、他県から流入する車も含めて禁止

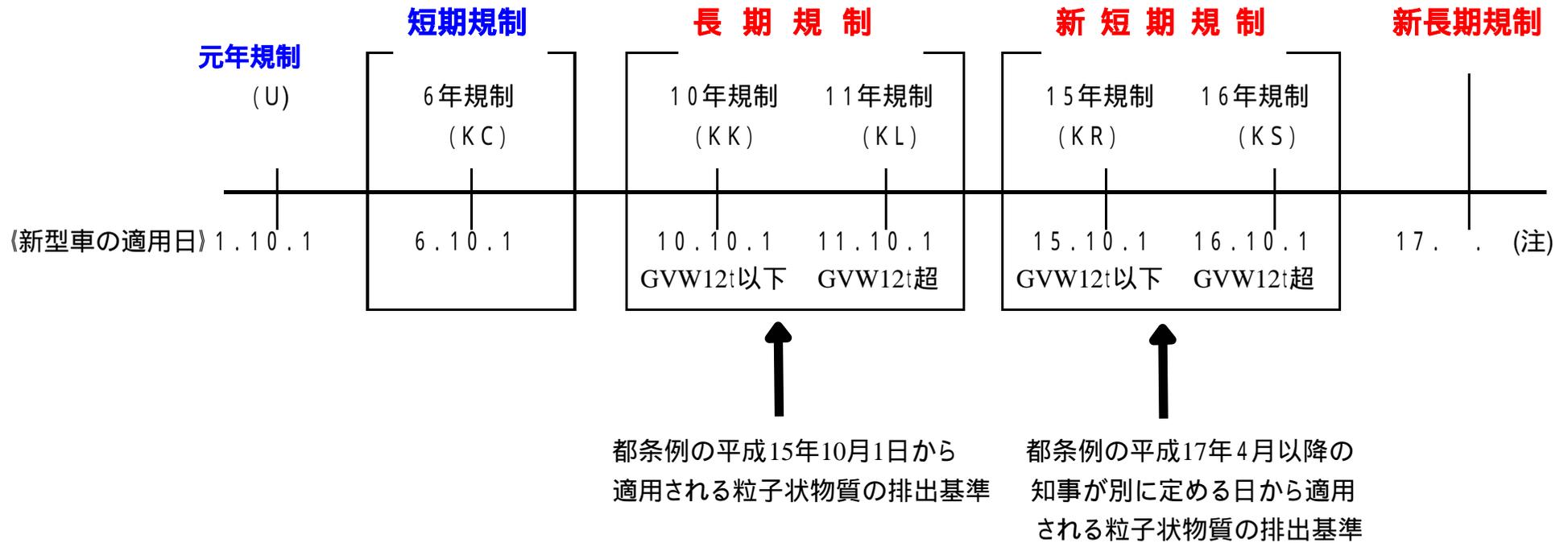
新車登録から7年間の猶予期間はあるが、これを過ぎると車を買替えるか、知事が指定する粒子状物質減少装置(DPF等)を装着

排出ガス規制の経緯と排出基準

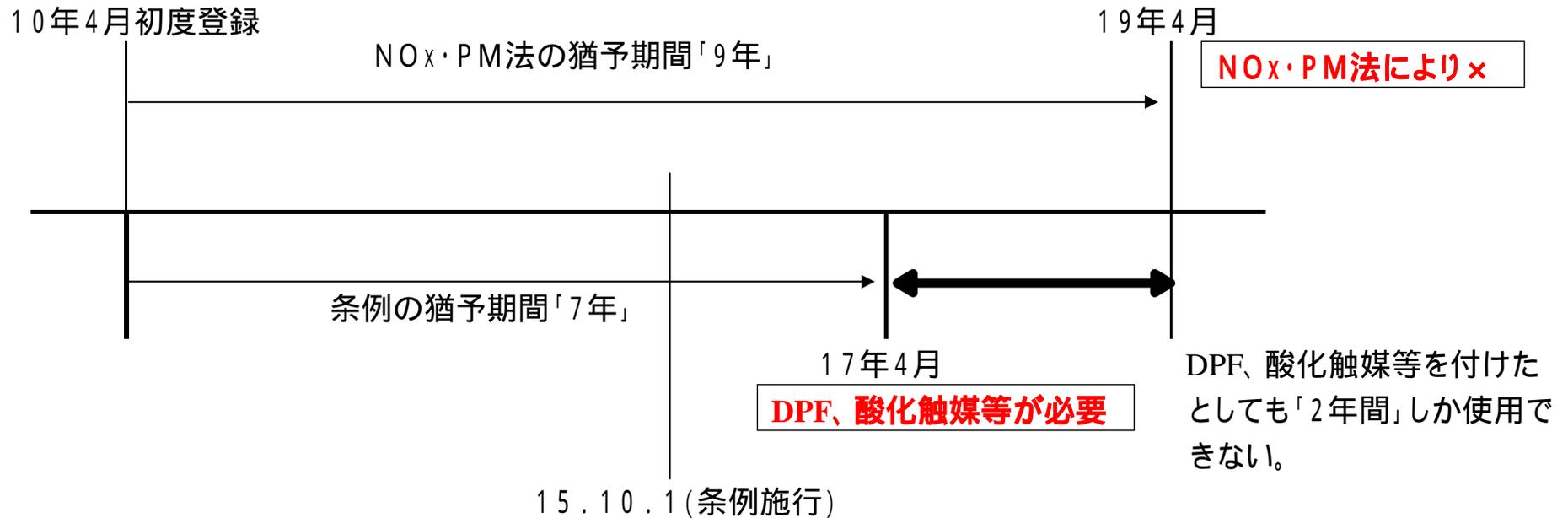
【軽油を燃料とする車両総重量3.5t超えの車両の場合】

注：現在、中央環境審議会において、規制値及び規制開始時期等を検討中

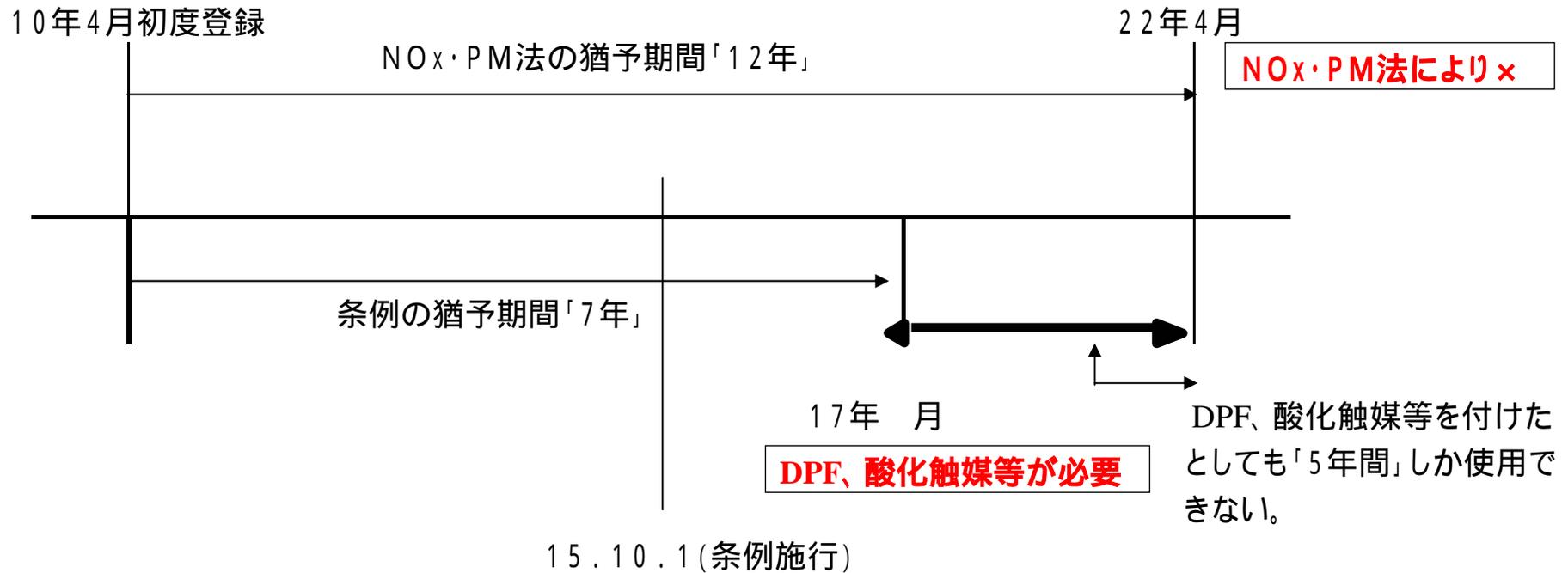
NO_x・PM法の排出基準



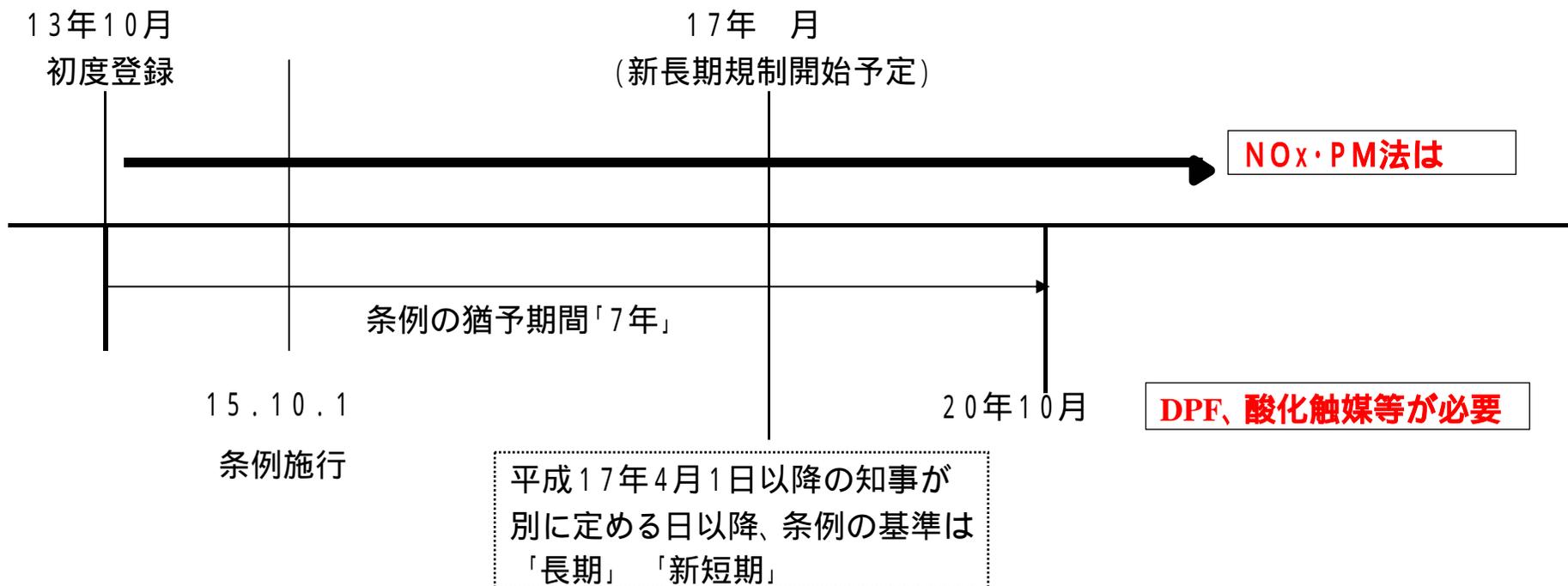
短期規制適合車 (平成6年規制適合車(KC)) の場合:【普通トラック】



短期規制適合車(6年規制適合車(KC))の場合:【大型バス】



長期規制適合車 (11年規制適合車(KL)) の場合



都民の健康と安全を確保する環境に関する条例 (健康確保条例)

「別表6」

自動車から排出される粒子状物質の量の許容限度	
平成15年10月1日から平成17年4月1日以降の知事が別に定める日の前日までの間適用するもの	平成17年4月1日以降の知事が別に定める日から適用するもの